

- 建物躯体の調査の結果15年以上の活用が可能と評価
- 各種アンケート等において、中心市街地・寒河江市のランドマークとしての評価
- 地域ワークショップ等において、人々が集う拠点としての活用要望

- 中期の後半(15年後)に建替えの検討を行う  
(公共施設等総合管理計画・個別施設計画)

今後15年は活用

中心市街地活性化センター(フローラ・SAGAE)を  
起点としたエリア イノベーションを推進

## フローラ・SAGAEを起点としたエリア イノベーションプロジェクトの背景

- ★若年層の市外流出による経済規模の縮小  
→RESAS階級別順移動数15～64歳 2013: ▲69、2023▲137
- ★中心市街地の空洞化  
→中心市街地空き店舗 H26:14件 R6:18件
- ★中心市街地活性化センターの機能低下  
→来場者数の減少(H28:73,514人、R5:64,921人)  
空きテナントの増加(空きテナント率:約32%)
- ★次世代の担い手の減少(創業件数の伸び悩み)  
→市:創業件数 R3:16 R4:18 R5:18  
県:開業率 2.8%(全国平均4.2%)全国的に見ても創業後進県



## 3つの機能を備えた新たな空間を中心市街地活性化センター内に整備

1. 日常とは違う文化や体験に触れ、創造性を育む場(人材育成)
2. 創業や新事業展開といった新しいチャレンジの後押しを行う場  
(インキュベーション)
3. 多世代交流や地方移住を推進する人々の集いの場(地域交流、移住定住)

# 寒河江百貨店を起点としたエリアイノベーションプロジェクトとは

## 寒河江百貨店

### ROOM（展示・交流スペース）

森岡督行氏（寒河江出身クリエイティブディレクター）のセレクトにより、アート・工芸・衣料・食品などのカテゴリーで地域の歴史やストーリーを有する注目度や独創性の高い100の品を展示販売するスペース。新たな創造の源泉を提供することにより新たな交流人口を生み出す場

### STUDIO（インキュベーションスタジオ）

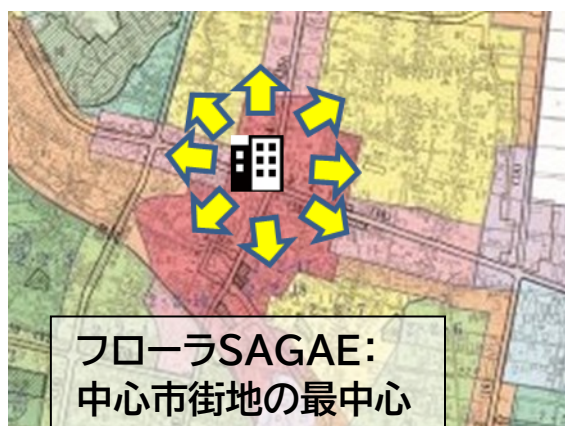
カフェ、学習スペース、ワークスペース、イベント、ワークショップ、勉強会等、市民と域外客だれでも利用でき、百貨店の展示品にまつわるイベント開催などにより、新たな交流から新たな創造を育むオープンイノベーションの場

### OFFICE（新事業の活動拠点）

創業者向けのレンタルオフィススペースなど交流から産み出た新たな事業を試行する企業の活動拠点

## 持続可能なイノベーション・エコシステムの形成

集う > 学ぶ > 交流 > 創造 > 試行 > 事業展開



○中心市街地の最中心地点に立地している

フローラSAGAEへ新しい人の流れ

○域外と域内の人が集まることで新しい交流と創造

○インキュベーションから事業展開

中心市街地エリアへのエリアイノベーションへ  
若者が集い・働き・活気あふれるまちづくりを推進

2階リノベーション イメージ図



クリエイティブディレクター・  
森岡書店店主、森岡督行とは

本市出身、株式会社森岡書店代表。文筆家、イベントのキュレーター、商品開発のプロデューサーとしても活動している。

東京・銀座にて「一冊の本を売る書店」をテーマに一冊ほ本から派生する展覧会を行いつつ、著者や編集者、デザイナーをはじめとする本づくりのメンバーと読者をつなぐ場所づくりを行っている。